

令和7年度 主な事業の 実施状況について

◆暮らしに芸術の感動を届けるプロジェクト

①市立小学校での弦楽器体験事業

市立小学校の児童向けに、バイオリン等の弦楽器の試奏体験と鑑賞機会を提供。

実施時期：令和7年9月～令和8年1月

実施校：9校（希望校での実施）

富雄北小学校、富雄第三小学校、ならやま小学校、興東小学校、済美小学校、伏見南小学校、西大寺北小学校、平城西小学校、済美南小学校

体験児童数：1,172人（うち試奏は814人）



②「コンサート招待」事業

ひとり親世帯、準要保護世帯等の保護者とその子をコンサート会場へ招待

実施時期：令和7年11月～令和8年2月

実施コンサート：5公演

- ・反田恭平プロデュース JNO室内楽シリーズ
- ・なら100クラシックコンサート
- ・0歳から楽しめるオーケストラコンサート

参加者数：23人

③アウトリーチコンサート事業

市内各所でのクラシックライブ等の実施

実施時期：令和7年7月～令和8年3月

実施会場：12か所

春日中学校夜間学級、老人ホーム、公設フリースクール、東大寺福祉療育病院、精華学院等

参加者数：862人（R8.2月時点）



関連推進施策:2-1 関心が持てない人に向けて鑑賞・活動機会の充実

◆美術館オープンミュージアム・魅力発信プロジェクト

①展覧会「シルクロードの暮らし —絨毯、茶道そして建築」



東西交易の中心となったシルクロードの暮らしや文化を体感。

建築模型や写真、ユネスコ世界遺産を中心に、シルクロード地域の生活が感じられるペルシャ絨毯、中国の古代茶道具の再現、正倉院模造宝物等を展示し、悠久の歴史を直接体験。

■開催期間：令和7年7月29日（火）
～令和7年8月31日（日）

■来場者：5,282人

②展覧会「pook展『てのひら散策』」



pook（プック）は、デジタル技術とクラフトワークで様々なオリジナル作品をつくる本多大和のひとりスタジオ。日常や制作の中で想像したストーリーと、仕掛けから発想したアイデアを、見る人の記憶に残るような“体験型展示”を実施。

開催期間：令和7年10月25日（土）
～令和7年11月30日（日）

来場者：8,559人

関連推進施策:2-2 継続的な文化活動につながる体験型プログラムの充実

◆奈良市アートプロジェクト「ならまちアート・コラボラトリー」の開催

メディアアート分野実施企画として、教育機関と連携し、アートとテクノロジー、サイエンスを融合した連携型プログラム実施。

(1) 部活編 (学校連携事業)

日時：令和8年2月7日 (土) 場所：奈良市立一条高校

参加：18人 高校1~2年生。美術部生徒

講師：安藤英由樹氏

(大阪芸術大学芸術学部アートサイエンス学科教授)

大谷智子氏

(大阪芸術大学芸術学部アートサイエンス学科准教授)

XRと芸術表現の講義を受けたのち、テクノロジー技術に触れ、参加者それぞれが描いたもの、持ち寄った素材をもとに、ひとつのアート作品を作り鑑賞する出張授業を実施



(2) まちかど編 (一般市民の参加型ワークショップ)

日時：令和8年2月11日 (祝・水) 場所：奈良ファミリーらくだ広場

①オープン型ワークショップ

対象：小学生等 参加：97人

講師：森山朋絵氏 (東京都現代美術館 学芸員)

安藤英由樹氏 (大阪芸術大学芸術学部アートサイエンス学科教授)

XR体験ワークショップを実施。



②クラスルーム型ワークショップ

対象：中高生向け 参加：9人

講師：清川清氏

(奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 情報科学領域 教授)

大谷智子氏

(大阪芸術大学芸術学部
アートサイエンス学科 准教授)

講師による楽しい未来技術の紹介、未来のまちについて想像し意見を交わす等アイディアソンを実施。



◆ 奈良市アートプロジェクト 「グリーン・マウンテン・カ レッジ」の開催

参加者とともに焚火を囲みながら、対話を繰り返す「学び合いの場」として平成30年度から実施しているプログラム。

校長 小山田 徹(美術家・京都市立芸術大学学長)
教頭 ブブ・ド・ラ・マドレーヌ(奈良市在住・アーティスト)

第1回11月28日(金) 18時～20時 参加:46人
教頭×ゲスト:浅野詠子(ジャーナリスト、フリーライター)

第2回11月29日(土) 18時～20時 参加:51人
校長×ゲスト:石井 一也(香川大学法学部教授)



◆ 日中韓青少年文化交流 「NARA ARTS BRIDGE for Youth」の実施



2016年に奈良市で開催した「東アジア文化都市」の開催都市である中国・寧波市、韓国・済州特別自治道との青少年文化交流。
オンライン交流を含め2017年より継続。

令和7年度 テーマ：ダンス

- 8月 韓国・済州での文化交流
- 9月 奈良での文化交流
- 10月 中国・寧波での文化交流

◆ 奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良の学校」の開催

「奈良で若手アーティストの活動の場を開くこと」と「教科書をつくること」を目的とする3年間のプロジェクト。学校2年目の今年度は若手アーティスト等を奈良に招き「古都で新しい表現を探る」をテーマに、3年目発行予定の奈良で活動するものの手引書となるような「教科書」に向けて、内容を固めた。

プログラムディレクター

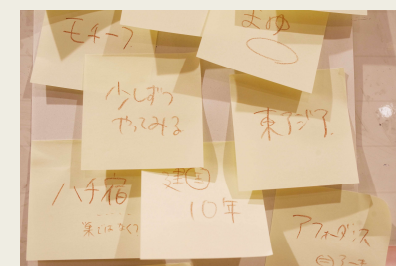
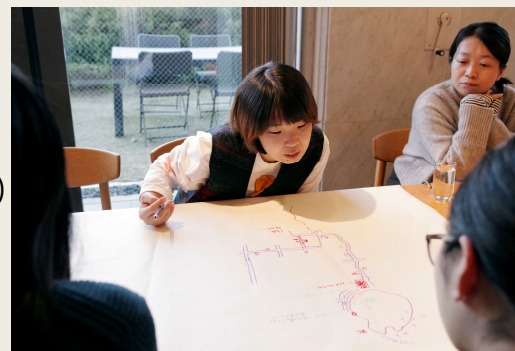
小山田 徹 (美術家・京都市立芸術大学学長)

藤 浩志 (美術家・秋田公立美術大学教授、
NPO 法人アーツセンターあきた理事長)

日程 11月29日 (土) ~30日 (日)

場所 ならまちセンター及び奈良町周辺

参加 17人



◆ 奈良市文化振興補助金の申請受付・相談のオンライン化とそれに伴う周知度向上

令和8年度の応募受付時に、Webフォームでの申込とWeb相談を導入。これに伴い、Webと連動したチラシのデザインや、SNS・デジタルサイネージ等を積極的に活用。遠方から、スタートアップ支援事業への応募前相談等も可能となった。

- 応募期間：令和7年8月20日～10月20日
- 応募総数：30件（うち、オンライン申請：16件）
- Web相談申込件数：3件



◆ 奈良市公式SNSの積極的な活用（文化施設事業の情報発信）

各施設のSNSだけでなく、市公式SNS（FB,X,LINE）等も利用することで、文化情報発信の機会を増やした。結果的に、各施設のSNSフォロワー増加にも貢献。

- 発信結果：
 - ・ 大乘院庭園文化館1回
 - ・ 音声館5回
 - ・ なら100年会館2回
 - ・ ならまちセンター11回
 - ・ 奈良市北部会館1回
 - ・ 杉岡華邨書道美術館1回
 - ・ 奈良市美術館1回
 - ・ 入江泰吉旧居1回

関連推進施策:5 伝統文化・芸能の魅力発信と人材の育成

◆ 第1回なら華郵賞

奈良市の名誉市民であり、「かな書」の第一人者として文化勲章を受章した杉岡華邨。その業績の顕彰と新たな書道文化を発信、また若手作家の発掘・育成を目的に「なら華郵賞」を創設。

応募作品から、

- ・最優秀作品（なら華郵賞）1点、
- ・準最優秀作品（寧楽賞、南都賞）2点

と、上位入選作品約20点による展覧会を開催。次年度には、上位の受賞者3人による三人展を開催し、今後は5期10年で開催予定。

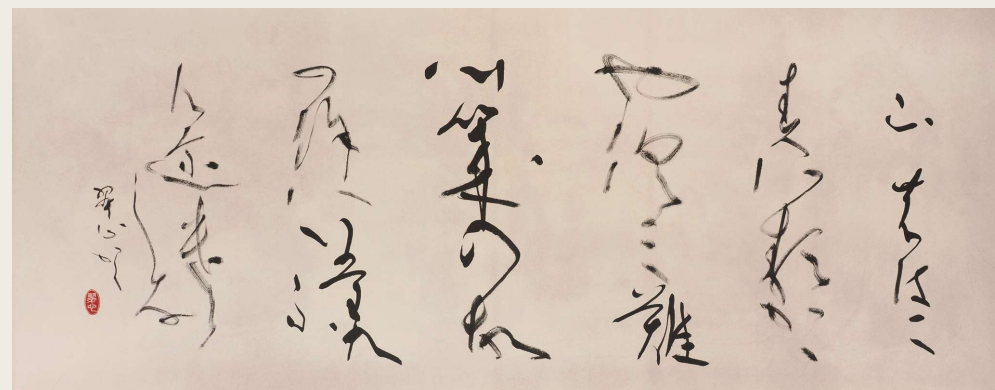
■ 応募期間：令和7年7月1日（火）～31日（木）

■ 応募作品数：

100点（漢字45点、かな39点、調和体16点）

■ 公募展会期：令和7年11月18日（土）
～令和8年1月31日（日）

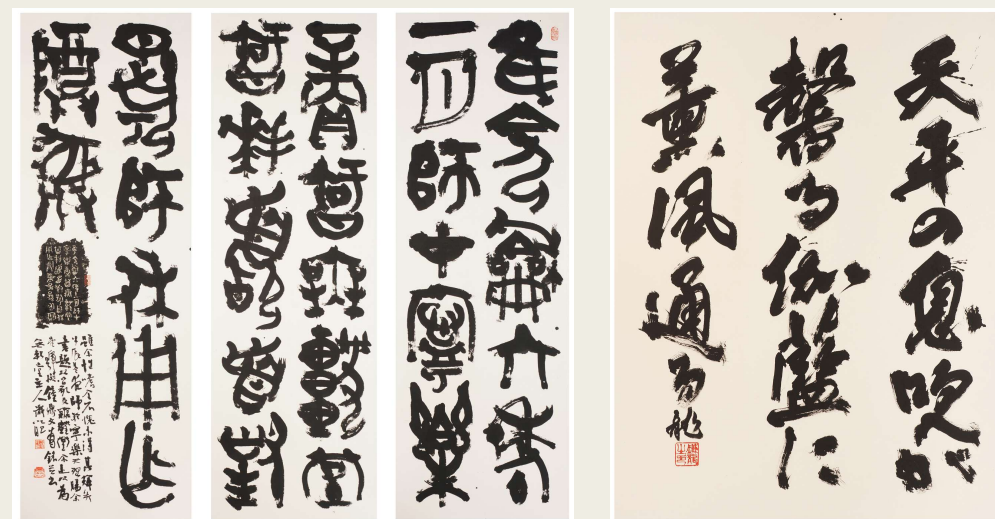
■ 公募展来場者：1,061人



↑なら華郵賞（北山翠心氏）

↓寧楽賞（北川智輝氏）

南都賞（鎌田龍佑氏） ↓



◆ 奈良市アートプロジェクト「まちなか舞台」の開催

劇場を飛び出し、奈良のまちを舞台として、演劇などの舞台芸術をショーケース形式で上演。「今ならこれ奈良」をテーマとし、3会場において2日間にわたりプログラムを実施。

■ **開催期間**：令和7年10月25日（土）
～令和7年10月26日（日）

■ **会場**：三条通り内旭水公園
ならまちセンターエントランス
奈良市役所 玄関ホール

■ **出演団体数**：6 団体

■ **観覧者数**：1,021人



◆ JNOと市立ならやま小中学校オーケストラ部の交流演奏会・アウトリーチコンサート

奈良市魅力発信パートナー「Japan National Orchestra (JNO)」と、市内唯一の公立学校のオーケストラ部員たちとの交流演奏会を実施。

< 午前の部 >

交流演奏会その他、舞台上でのプロのリハーサルの見学や、生徒たちの楽器クリニックを実施。

< 午後の部 >

JNOによる弦楽五重奏のクラシックコンサートを開催。

■開催日：令和8年1月24日（土）

■参加者：

（午前の部） Japan National Orchestra 5名
オーケストラ部生徒

小学生7人、中学生2人 計9人

（午後の部） 134人

